

第 35 回日本染色体遺伝子検査学会総会・学術集会大略

テーマ 「未来につながる染色体・遺伝子検査」

会 期：平成29年11月25日(土)～26日(日)

会 場：学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学

〒632-0018 奈良県天理市別所町80-1

TEL 0743-63-7811 (代表) FAX 0743-63-6211

大 会 長：大野 仁嗣 (天理よろづ相談所医学研究所 副所長, 同病院 血液内科部長)

実行委員長：福塚 勝弘

事 務 局：〒632-8552 奈良県天理市三島町 200

(公財)天理よろづ相談所医学研究所

TEL 0743-63-5611(内線 8976) E-mail fuku-5ken@tenriyorozu.jp

参 加 費：会員 5,000円 非会員 6,000円 学生 無料 (要学生証提示)

主 催：日本染色体遺伝子検査学会

〈一般演題募集〉

演題申込み：平成29年4月1日(土)～6月30日(金)

抄録締切：平成29年8月18日(金)

抄録原稿はWordでA4版に、タイトル、発表者名(所属が異なる場合は、右上に上付き数字で示す)、所属(異なる所属は、左上に上付き数字で示す)、目的、方法、結果、考察の順に書き、総文字数1,600字以内とする。英数文字半角にすること、図表は受け付けない。

抄録はEメールにて事務局(福塚) fuku-5ken@tenriyorozu.jp まで送付して下さい。

発表形式：Windows PC のPower Pointを使用したプロジェクターの口演形式で、発表7分、質疑3分を予定しております。

第 35 回日本染色体遺伝子検査学会総会・学術集会

プログラム

テーマ 「未来につながる染色体・遺伝子検査」

会 期：平成29年11月25日(土)～26日(日)

会 場：学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学

大会長：大野 仁嗣（天理よろづ相談所医学研究所 副所長, 同病院 血液内科部長）

11月25日(土) 1日目	
12:00～	受付
12:30～13:05	総会 理事長挨拶
13:05～13:10	開会式 大会長挨拶
13:10～15:00	一般演題
15:20～16:20	大会長講演 座長 松野 一彦(北海道大学名誉教授 酪農学園大学(食と健康学類)教授) 『悪性リンパ腫の染色体・遺伝子診断』 大野 仁嗣(天理よろづ相談所医学研究所 副所長)
16:30～17:30	教育講演 座長 赤坂 尚司(天理よろづ相談所病院 血液内科副部長) 『血液腫瘍の分子細胞遺伝学:基礎と臨床』 谷脇 雅史(京都府立医科大学 分子診断・治療センター)
18:00～20:00	懇親会

11月26日(日) 2日目	
9:00～9:30	一般演題
9:40～10:40	<p>シンポジウムⅠ</p> <p>『染色体・遺伝子検査の卒後教育と精度管理』</p> <p>座長 上野 一郎</p> <p>染色体検査における卒後教育と精度管理 佐藤 悦子(雪の聖母会聖マリア病院)</p> <p>遺伝子検査における卒後教育と精度管理 中條 聖子(株式会社エスアールエル)</p> <p>認定臨床染色体遺伝子検査師制度と卒後教育 園山 政行(株式会社ビー・エム・エル)</p>
11:00～12:00	<p>特別講演Ⅰ</p> <p>座長 山中 忠太郎(天理よろづ相談所病院 院長)</p> <p>『遺伝子検査を基盤にした診療方針決定の現状:小児医療の現場より』</p> <p>依藤 亨(大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科,遺伝子診療部, 臨床研究センター部長)</p>
12:00～13:00	<p>ランチョンセミナー</p> <p>『コンパニオン診断の現状とこれから』</p> <p>田澤 義明(ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社)</p>
13:00～14:00	<p>シンポジウムⅡ</p> <p>『次世代シーケンサーを用いた実際の業務と今後の課題・展望』</p> <p>固形がん関連として 柿島 裕樹(国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科)</p> <p>先天性疾患を中心として 要 匡、柳久美子(国立成育医療研究センター ゲノム医療研究部)</p>
14:10～15:10	<p>特別講演Ⅱ</p> <p>座長 奥山 虎之(国立成育医療研究センター 臨床検査部長)</p> <p>『胎児医療と生命倫理学』</p> <p>千代 豪昭(夫律子マタニティークリニック 副院長 日本人類遺伝学会 名誉会員)</p>
15:10～	閉会式